

Kazuo Tachibana Memorial Concert XII

立花和夫記念第12回演奏会

ラルカータ室内合奏団 冬桜コンサート

Winter Cherry Concert



©井村重人

特別出演 ヴァイオリン

篠崎 史紀

ピアノ

立花 眞理

箏

立花 かおり

芙蓉会

2025.11/29(土)

14:00開演(13:30開場)

ふくしん夢の音楽堂大ホール

Tel.024-531-6221

全席自由 3,000円

— ロビーにてドリンクバー(有料)を設けております —

Program

曲目はやむを得ず変更する場合があります

モーツァルト ディヴェルティメント 二長調 K.136

モーツァルト ディヴェルティメント 変ロ長調 K.137

宮城 道雄 「水三題」より

山の筧(やまのかげひ)

大河の夕(おおかわのゆうべ)

宮城 道雄 せきれい

ヘンデル かつて木陰は

フォーレ シチリアーノ

チャイコフスキー アンダンテ カンタービレ

クライスラー テンポ ディ メヌエット

バッハ 羊は安らかに草をはみ

モーツァルト アヴェ ヴェルム コルプス

モーツァルト ディヴェルティメント ヘ長調 K.138



11/29冬桜コンサートに向けて
共に練習しMaro氏と一緒に
演奏したい奏者募集

年齢不問

《お申し込み/お問い合わせ》

Tel.090-9036-2695

larcatahappymember@docomo.ne.jp

— チケット取り扱い —

ふくしん夢の音楽堂 Tel.024-531-6221

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所 Tel.024-534-9191

歌舞伎家楽器店 Tel.024-534-0052

ラルカータ室内合奏団 Tel.090-9036-2695

キョウワグループ・テルサホール Tel.024-521-1500

— お問い合わせ —

ラルカータ室内合奏団事務局 Tel.090-9036-2695 larcatahappymember@docomo.ne.jp

主催/ラルカータ室内合奏団

後援/福島県教育委員会 福島市 福島民報社 福島民友新聞社

協賛/立花会

11/30(日)

室内楽特別公開講座

受講者募集

演奏・指導/篠崎史紀

キョウワグループ・テルサホール音楽室

篠崎 “まろ” 史紀 Fuminori Maro SHINOZAKI



愛称 “まろ”。3歳より両親の手ほどきを受け、1981年ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサートデビューを飾る。その演奏は、「信頼性のあるテクニック、遊び心もある音楽性」「真珠を転がすような丸く鮮やかな音色、魅惑的な音楽性」と各メディア紙から称賛される。その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たしヨーロッパを中心にソロ、室内楽と幅広く活動。88年帰国後、群響、読響のコンサートマスターを経て、97年N響のコンサートマスターに就任。以来“N響の顔”として国内外で活躍する。ヨーロッパ公演では、The Classical Sourceより「コンサートマスターの篠崎は言葉にならないくらい神がかった」「篠崎のカリスマ的な姿は、銀白の鎧をまとった戦士のようにもあり、全てを統括していた」と評される。2025年3月惜しまれながらもその任を退く。2004年より銀座・王子ホールでスタートした『Maro ワールド』、このシリーズから弦楽合奏団『マロカンパニー』が結成された。これらの功績により、『2020年度第33回 ミュージック・ベンクラブ音楽賞』受賞。1979年史上最年少で北九州市民文化賞、2001年福岡県文化賞、14年有馬賞受賞。19年には日本人ヴァイオリニストとしては初めてリスト音楽院より招聘されマスタークラスの指導を行う。WHO 国際医学アカデミー・ライフハーモニーサイエンス評議会議員、北九州市文化大使。九州交響楽団ミュージック・アドバイザー、福山リーデンローズ音楽大使。使用楽器は1727年製アントニオ・ストラディヴァリウス。(株)ミュージックプラザ 神田侑晃氏より貸与。近刊は、絵本「おながくはまほう」(リトルモア社)、「音楽が人智を超える瞬間」(ポプラ新書)。月刊誌『音楽の友』にて「Maroの軌跡」、同「サラサーテ」では「Maroの寺子屋ヴァイオリン塾」を連載中。本年、次世代の育成に必要なあるべき音楽教育を推進する「一般社団法人 Music Force」を設立。理事長を務める。

ラルカータ室内合奏団は、1988年立花和夫により創立されました。クラシック或いはバロックの合奏曲や室内楽、協奏曲などを、趣味と教養そして演奏法の研究を目標に演奏活動を続けています。

毎年定期的に演奏会を行い、第21回演奏会を迎えた2008年は“立花和夫音楽教育60年記念演奏会”を開催。これをAvancé1 Autumn Concertとして、2013年Avancé6 Autumn Concertまで回を重ねました。

立花和夫は、その生涯を永く音楽教育に携わると共に音楽を愛し、福島音楽界、オーケストラの発展に力を注ぎました。その薫陶を受けた音楽愛好家やその家族が中心となり、音楽を愛する互いの心を大切にしながら、2014年からは《立花和夫記念演奏会》とするコンサートI～XIIを、毎回篠崎史紀氏をゲストに歩み続けています。

2014年チェコのシュターミッツ四重奏団を招き指導を受け、16年「立花眞理&シュターミッツ四重奏団IV」、「同V」にて共演。

2015年一福島の今と未来へ&子供たちへコンサート、2021～25年眞白の会レディエントコンサートも篠崎史紀氏をゲストに開催しています。

今回は年齢や経験の違いを超えて集いを重ね、第38回目の演奏会です。

随時団員募集中 ラルカータ室内合奏団 〒960-8115福島市山下町1-11 立花 090-3813-1302

ラルカータ室内合奏団



音楽監督
立花 眞理



立花 眞理 Mari Tachibana

武蔵野音大ピアノ専攻卒業。ピアノを馬場那岐子、本荘玲子の各氏に師事。NHK 洋楽オーディション合格。1992年よりモスクワにてセルゲイ・ドレンスキー教授を始め、欧米各地で著名なピアニスト、指揮者の指導を仰ぐ。1999～2019年プラハにてピアノ、室内楽、指導法の研鑽を積む。東京、福島で、箏立花かおりとのジョイントリサイタルを2回、ソロリサイタルをシリーズでI～XXと行う。「それはプラハから…」と題するシュターミッツ四重奏団とのピアノ五重奏演奏会I～Vを開催するなど室内楽演奏会を多数行う。眞白の会主宰としてピアノ演奏法、指導法の研究、ラルカータ室内合奏団音楽監督として弦楽合奏に勤む。

立花 かおり Kaori Tachibana

幼少の頃より母立花芙沙子に箏の手ほどきを受ける。立教大学文学部卒業後、NHK 邦楽技能者育成会第27期入会、卒業。1983年「現代邦楽作品による箏と二十絃箏リサイタル」以来、「芙蓉会箏曲演奏会」「立花かおり箏リサイタル」等、多数の演奏会を開催。2015年「芙蓉会75周年記念演奏会」開催。現在、学校での邦楽指導や洋楽器・他邦楽器との演奏活動、洋楽作品の編曲、創作活動を行う。生田流箏曲宮城社大師範、芙蓉会会主。

箏曲芙蓉会



ラルカータ室内合奏団

Violin	菅野 有紀子 箭内 麻美 佐々木 梨花	山田 絵里佳 中川 英子	伊藤 ちはる 釧持 利加子	根岸 雅美 須永 好夫	大内 幸子 江川 ひかり
Viola	武田 江美子	佐藤 千佳子	榎本 知香	片岡 由樹子	加藤 雅也
Cello	榎本 一輝	三浦 吉則	長谷川 弘樹		
Contrabass	田中 成和				
Organ / Piano	立花 眞理				
Staff	武田 江美子 佐藤 美和子	榎本 有美 鈴木 桂子			